



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6050 URL https://www.e-guardian.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 溝辺 裕 TEL 03-6205-8859
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,717	18.2	963	11.6	1,006	13.1	686	13.5
2019年9月期第3四半期	4,838	10.1	863	10.8	890	12.4	605	11.4

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 646百万円 (7.0%) 2019年9月期第3四半期 604百万円 (11.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	67.81	—
2019年9月期第3四半期	59.34	59.33

(注1) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,223	4,042	77.1
2019年9月期	4,598	3,488	74.5

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 4,027百万円 2019年9月期 3,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2020年9月期の1株当たりの配当金につきましては、現在未定です。

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	13.2	1,201	2.9	1,221	1.6	850	1.2	84.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外1社（社名）株式会社アイティエス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	10,405,800株	2019年9月期	10,405,800株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	278,321株	2019年9月期	278,299株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	10,127,483株	2019年9月期3Q	10,196,614株

（注1）期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数（四半期累計）の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続き緩やかに回復しておりましたが、年明け以降、新型コロナウイルスの感染拡大により景気は下押し圧力の強い状態となり、先行きは非常に不透明な状況となっております。

これを受け、国内のインターネット関連市場は、動画視聴及びEC(インターネット通販)等の巣ごもり消費が拡大し、引き続き市場成長が継続しております。加えて、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されます。

その一方で、リモートワークの拡大に伴うセキュリティへの不安の高まりや、IoT(※1)によりあらゆるものがリスクにさらされる等、インターネットセキュリティの課題は年々深刻化しております。そのため、全てのインターネットユーザーが安心してインターネットを利用できるよう、投稿監視、カスタマーサポート、及びサイバーセキュリティへの関心はますます増加しております。

用語説明

(※1) Internet of Things(モノのインターネット)の略称。建物、車、及び電子機器等の様々なモノをネットワークによりサーバーやクラウドサービスへ接続し、相互に情報交換する仕組み。

このような環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「人とAIのハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。

2020年4月には動画市場の拡大に対する生産体制強化のため、新宿サテライト及び広島センターの2拠点を開設いたしました。

また、サイバーセキュリティ領域の強化を目的に、2019年8月に株式会社グレスアベイルを子会社化し、クラウド型のファイアウォールやセキュリティ診断ツールを自社開発する体制を整えております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,717,973千円(前年同期比18.2%増)、営業利益は963,647千円(前年同期比11.6%増)、経常利益は1,006,599千円(前年同期比13.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は686,757千円(前年同期比13.5%増)となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートはソーシャルWebサービス（※2）等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの増加や外出自粛によって、インターネットサービスは需要が増えたもの、減少したもの等、大小様々な影響が出ております。

その中で、当社はコロナ禍においても成長を続ける動画領域に注力いたしました。これまでに蓄積したノウハウとAIの活用により高効率を実現し、売上を拡大いたしました。

その結果、売上高は2,368,174千円（前年同期比33.9%増）となりました。

用語説明

（※2）SNSやブログ等のソーシャルメディアや、ソーシャルゲーム、Eコマース等の、個人同士双方向のコミュニケーションが介在する全てのインターネットメディア。

② ゲームサポート

ゲームサポートはソーシャルゲームを対象に、主にカスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

海外子会社E-Guardian Philippines Inc.との連携により、マルチリンガルでのカスタマーサポート、ローカライズサービスを提供するなど、海外ゲーム企業の多言語案件受注に注力いたしました。

その結果、売上高は1,880,477千円（前年同期比2.0%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスはインターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

株式会社サイバー・コミュニケーションズ（以下「CCI社」という）と合弁により、広告・マーケティングに特化したBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）事業を展開する株式会社ビズテラー・パートナーズを設立いたしました。当社が培ってきたBPOノウハウと、CCI社の広告業務オペレーションノウハウを活かすことにより、広告業界の課題である人材不足の解消を目指します。

その結果、売上高は736,525千円（前年同期比16.1%増）となりました。

④ その他

その他は主にサイバーセキュリティ業務及びハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。

サイバーセキュリティ業務におきましては、株式会社グレスアベイルが国内初のコンテナ型WEBセキュリティファイアウォールである「GUARDIAX」を開発いたしました。「GUARDIAX」はAIによる自動解析制御や高度ログ分析等の高度な機能を持ち、サイバー攻撃被害の最小化に貢献いたします。

また、デバッグ業務におきましては、EGテストサービス株式会社が、ソフトウェアのデバッグ事業とシナジーを発揮し、既存顧客への深耕営業や新規開拓を目指してまいりました。

その結果、売上高は732,796千円（前年同期比41.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、4,069,750千円となり、前連結会計年度末における流動資産3,519,018千円に対し、550,732千円の増加(前連結会計年度末比15.7%増)となりました。

これは主に、現金及び預金が366,061千円増加し、加えて売掛金が166,819千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,154,032千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,079,426千円に対し、74,605千円の増加(前連結会計年度末比6.9%増)となりました。

これは主に、新拠点開設に伴い有形固定資産が79,907千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、5,223,782千円(前連結会計年度末比13.6%増)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,181,573千円となり、前連結会計年度末における負債1,110,321千円に対し、71,252千円の増加(前連結会計年度末比6.4%増)となりました。

これは主に、未払金が152,725千円増加した一方、賞与引当金が49,681千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、4,042,208千円となり、前連結会計年度末における純資産3,488,123千円に対し、554,085千円の増加(前連結会計年度末比15.9%増)となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益686,757千円を計上した一方、剰余金の配当92,594千円を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今年度の業績予想は、2019年11月5日公表時点から変更なく、現時点で業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,744,699	3,110,760
売掛金	705,083	871,902
仕掛品	4,746	10,240
その他	64,488	76,845
流動資産合計	3,519,018	4,069,750
固定資産		
有形固定資産	462,300	542,207
無形固定資産		
のれん	200,840	166,104
ソフトウェア	38,120	35,927
ソフトウェア仮勘定	11,185	—
その他	311	311
無形固定資産合計	250,457	202,342
投資その他の資産	366,669	409,481
固定資産合計	1,079,426	1,154,032
資産合計	4,598,445	5,223,782
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,568	5,084
短期借入金	6,000	—
1年内返済予定の長期借入金	16,068	—
未払金	435,809	588,535
未払費用	15,160	22,054
未払法人税等	211,577	179,325
未払消費税等	116,037	170,856
賞与引当金	99,508	49,826
その他	42,591	34,886
流動負債合計	951,321	1,050,569
固定負債		
長期借入金	54,935	—
役員株式給付引当金	69,170	87,266
長期預り保証金	26,519	24,407
その他	8,374	19,330
固定負債合計	159,000	131,004
負債合計	1,110,321	1,181,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	364,280	364,280
資本剰余金	376,512	376,512
利益剰余金	3,037,318	3,631,481
自己株式	△343,305	△343,353
株主資本合計	3,434,806	4,028,921
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△8,409	△1,523
その他の包括利益累計額合計	△8,409	△1,523
非支配株主持分	61,726	14,810
純資産合計	3,488,123	4,042,208
負債純資産合計	4,598,445	5,223,782

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年10月1日 至 2019年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）
売上高	4,838,148	5,717,973
売上原価	3,149,983	3,751,002
売上総利益	1,688,164	1,966,970
販売費及び一般管理費	824,327	1,003,323
営業利益	863,837	963,647
営業外収益		
補助金収入	25,167	42,505
為替差益	508	—
その他	1,636	3,150
営業外収益合計	27,312	45,655
営業外費用		
支払利息	557	1,265
支払手数料	376	—
為替差損	—	735
その他	80	703
営業外費用合計	1,014	2,703
経常利益	890,134	1,006,599
特別利益		
固定資産売却益	344	—
移転補償金	—	4,463
特別利益合計	344	4,463
特別損失		
固定資産除却損	1,575	13,126
事務所移転費用	5,218	—
特別損失合計	6,794	13,126
税金等調整前四半期純利益	883,685	997,936
法人税、住民税及び事業税	287,335	346,109
法人税等調整額	△8,726	11,985
法人税等合計	278,608	358,095
四半期純利益	605,077	639,841
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	—	△46,915
親会社株主に帰属する四半期純利益	605,077	686,757

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年10月1日 至 2019年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	605,077	639,841
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△716	6,886
その他の包括利益合計	△716	6,886
四半期包括利益	604,360	646,728
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	604,360	693,643
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△46,915

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。